

見 沼 区 役 所

【 代 表 課 】

総務課 048 - 681 - 6013 (直通電話番号)

(各事業のお問い合わせ先がご不明の場合には、上記代表課にてご確認ください。)

事務事業総点検<改革のカルテ>

担当局 見沼区役所

通番	事務事業名	事業名	H22年度 予算額 (千円単位)	事業 類型	見直しの判断基準(メルクマール)								実施 方法	事業の概要 (目的・内容)	見直しの方向性		職員数			提出調書			担当課	行革本部 の見解				
					(1)	(2)	(3)	(3)	(3)	(4)	(5)	(6)			(7)	該 当 な し	方 向 性	見直し内容	正 規	再 任 用	臨 時	様 式 2			附 表 1	附 表 2	附 表 3	
1	見沼区まちづくり推進事業	交通安全施設維持管理事業	42,028	C									1		1		2	安心安全なまちづくりのため、道路照明、道路反射鏡、道路標示、注意看板等の整備を行うことにより、車両の良好な視覚環境を確保し、事故防止や犯罪抑止を図る。	ク	交通安全施設維持管理事業は、安全安心なまちづくりのために継続すべき事業である。今後、交通安全施設は精査の上必要に応じた設置補修等を行うとともに、街路灯のLED化を推進する。	3.0			1			総務課	ク-1
2	見沼区まちづくり推進事業	公衆便所維持管理事業	250	C									1		1		2	東大宮駅前に設置してある公衆便所が快適に使用できるよう、清掃、点検、交換、修繕等の維持管理を行う事業。	ウ	市民がいつでも快適にトイレが使用できるように、保守及び緊急修繕を行っているが、市内各所の公衆便所を一括管理することにより事務の軽減化を図る。	0.2			1			総務課	エ-3
3	見沼区まちづくり推進事業	衛生害虫駆除事業	2,808	C		1									1		2	スズメバチ等危害を害虫等の駆除を緊急に実施し、市民生活の安全を守る。	ク	市街地に営巣するハチが増えている中、緊急駆除の依頼が増加している(21年度862件)。市民の安心安全の観点から迅速に害虫駆除をすることは、今後も継続して実施する必要がある。	2.0			1			総務課	エ-3
4	見沼区まちづくり推進事業	土木緊急修繕事業	73,620	C											1		2	区域内の道路パトロールを実施し、道路等の修繕必要個所の早期発見と区民からの修繕個所に対する早期対応を積極的に実施する。	ク	道路法により道路管理者(市)は、「道路を常時良好な状態に保つよう維持し、修繕」しなければならないため、市が継続して事業を実施する。安全な市民生活を確保するため、今年度から新たに電気自動車を使用するなどパトロールの回数を増やす。	3.0	2.0		1			総務課	ウ-3
5	見沼区まちづくり推進事業	交通安全啓発事業	1,793	C									1				1	交通安全対策にかかる市民の意識を高揚させるため、交通安全啓発用品やチラシ・ポスターを配布し、市民の交通事故防止対策を図る事業。	ク	各交通安全団体と警察・市民団体が連携し、区内各所で車両・自転車利用者・歩行者に対して交通安全のキャンペーンや、子ども自転車免許試験などを実施している。今後、高齢者の増加に伴い交通事故の増加が懸念されるため、交通安全啓発事業を粘り強く継続的に実施する必要がある。	0.5			1			総務課	ウ-3
6	見沼区まちづくり推進事業	区長マニフェスト・評価書作成事業	126	C		1									1		1	区政運営にあたっての目標、取組姿勢、区まちづくり推進事業を分かりやすく説明するための区長マニフェストを作成し、これに対し年度末に区民の皆様から、マニフェストに対する評価及びご意見を伺うことにより、その後の区政運営に繋げる。	ク	区政運営の目標や取組姿勢等を明確化することにより、区民が区長マニフェストの進捗状況を確認し評価することができ、区民ニーズを区政運営に反映することが可能となった。今後は、区民に対しての広報、アンケートの回収方法等の改善を図り、引き続きより多くの効果が得られるように事業を継続していく。	0.5			1			総務課	ウ-3
7	見沼区まちづくり推進事業	見沼区自主防災組織連絡協議会	50	C											1		1	見沼区内の自主防災組織の結成促進・育成強化を推進し、万全な防災体制を構築することを目的とする。	ク	防災意識の高揚、自主防災組織の結成促進、育成強化を図ることを目的に、各自治会、各自主防災組織、消防、区役所とで組織する同連絡協議会は、地域住民の安心安全を守り、組織目的を達成するために重要な役割を果たしている。今後、防災対策の一層の充実を図るためには、継続した事業運営をする必要がある。	0.5			1			総務課	ク-1
8	見沼区まちづくり推進事業	災害応急対策事業	97	C											1		3	区内で発生した風水害等に対応するための応急対策にかかる事業。	ウ	風水害時に活用する緊急対応の重要な予算であるため予算確保は必要と思われるが、これまでに予算を執行した実績がなく、限られた予算を有効活用するために、各区の予算を集中管理することで災害時の対応がより効果的に実施できると考えるため。	0.1			1			総務課	エ-3
9	見沼区まちづくり推進事業	文化まつり事業	1,950	C											1		4	コミュニティセンター・公民館等で活動している団体が芸能発表・作品展示をし区民が一体となって取り組めるような文化交流の場を設けるために文化まつりを開催する。	ク	文化交流の場を通じ、住民の連帯感や絆を深め、また、新たな郷土づくりと郷土意識の醸成を高めることなどの目的が果たされている事業であるため、継続して実施する。また、参加者に対し、アンケート調査を実施して事業への区民の満足度を検証し、さらに充実した事業とする。	0.5			1	1		総務課	オ-8
10	見沼区まちづくり推進事業	防犯推進事業	705	C											1		1	区民への防犯意識の啓発と地域における防犯活動を推進するため、防犯連絡協議会、講習会、防犯の日事業を開催する。区の防犯啓発と地域の治安向上を目指し、区役所職員による青色回転灯装着車両での防犯パトロールを実施する。	カ	区民が安心安全に暮らせる犯罪のない住みよい社会の実現のために防犯啓発事業を実施しており、地域住民が自主的に行う防犯パトロールの支援等を継続して実施する。また、公用自転車に防犯パトロールプレートの装着、区役所職員による青色防犯パトロールなど防犯活動のさらなる充実を図る。	0.5			1			総務課	ウ-3
11	見沼区まちづくり推進事業	区民会議運営事業	6,663	C											1		2	見沼区の魅力あるまちづくりを推進し、市民共同型社会の実現を目指すために設置された区民会議に対し、会議資料や活動報告書の作成、広報活動への支援など区民会議の活動が円滑に推進されるための支援を行う。	オ	市民活動推進委員会専門部会の答申を受け、区民会議の「あるべき姿」に向け、委員選出基準等の見直しを図ること、区民と行政との協働によるまちづくりを推進する。	0.4			1			総務課	オ-9

事務事業総点検<改革のカルテ>

担当局 見沼区役所

通番	事務事業名	事業名	H22年度 予算額 (千円単位)	事業 類型	見直しの判断基準(メルクマール)							実施 方法	事業の概要 (目的・内容)	見直しの方向性		職員数				提出調書			担当課	行革本部 の見解		
					(1)	(2)	(3)	(3)	(3)	(4)	(5)			(6)	(7)	該 当 な し	方 向 性	見 直 し 内 容	正 規	再 任 用	臨 時	様 式 2			附 表 1	附 表 2
12	見沼区まちづくり推進事業	区広報紙作成事業	1,386	C									2	区の情報(業務・事業)を提供するために、「市報さいたま」の区役所ページ(5ページ分)の編集を行う。	ク	区の情報を提供するために必要不可欠な事業であるので、区民にわかり易く行政の情報を発信できるように改善を図って行く。	0.4				1				総務課	ク-1
13	見沼区まちづくり推進事業	見沼区ガイドマップ作成事業	1,200	C									2	区民へ様々な情報を発信し、地域への理解と郷土意識を醸成し、まちづくりの推進を図るために毎年新しい情報を取り入れた区のマップを作成する。	オ	区の情報を提供するための重要な媒体であるため、年度ごとにマップの内容等を検討し費用対効果を図って行く。	0.4				1				総務課	カ-2
14	見沼区まちづくり推進事業	花と緑のまちづくり推進事業	250	C									4	駅や駅周辺に花などを植栽していただける団体に花苗等を提供し、協働して花と緑のまちづくりを推進する。	ク	「しあわせ倍増プラン2009」に基づく新規事業であり、区民との協働による継続的な仕組みのあり方を検討する。	0.4				1	1			総務課	オ-8
15	見沼区まちづくり推進事業	少年・少女サッカー教室事業	456	C				1					3	「サッカーのまちさいたま市」のまちづくりを目指す一環として、区内の子供たちを対象にサッカー教室を開催し、併せてサッカーを通じた青少年の健全育成と基本的な技術の向上を図ることを目的とする。	ク	スポーツを通じ、青少年の健全育成と基本的な技術の向上を図るため、またスポーツ振興まちづくり条例を推進していく上でも必要な事業であるので、継続して実施する。また、参加者に対し、アンケート調査を実施して満足度を検証し、さらに充実した事業とする。	0.5				1				総務課	ク-1
16	見沼区まちづくり推進事業	見沼区ふれあいフェア	5,136	C				1					2,4	郷土づくりと郷土意識の醸成及び地域住民の連帯を高めることを目的とし、ステージ発表やブース展示等の区民のまつりを11月に開催する。来場者数は、約30,000人。	ク	地域団体などによる日頃の活動の成果発表や成果物の展示を通して、区民の郷土意識の醸成や相互理解及び連帯感を高める有効な事業であり、来場者へのアンケート等を参考に効果を検証し、区民満足度を高める。	0.4				1		1		総務課	ク-1
17	見沼区まちづくり推進事業	まちづくり推進事業・区民会議実行委員会事業支援	800	C									4	区民のコミュニティの醸成とまちづくりの推進を目的とした事業を行う団体に対し補助金を交付する。	ク	各事業において参加者へアンケート調査を実施し、検証を行うことにより、効果的な事業を継続して実施する。	0.4				1		1		総務課	ク-1
18	見沼区まちづくり推進事業	見沼区うんどう遊園地域指導員活動推進事業	52	C									5	うんどう遊園地域指導員の活動を地域に広げ、元気な高齢者を対象とした見沼区独自の屋内うんどう教室を開催することで、高齢者の健康保持・増進を図り、元気な高齢者の多いまちづくりに貢献する事業。	カ	高齢化が一層進む中、元気な高齢者を対象としたうんどう教室を開催することは、介護予防の観点から必要な事業である。また、地域のボランティアであるうんどう遊園地域指導員12名を活用した事業であり、費用対効果も高いため、できる限り区内の活動拠点を増やし、多くの参加者を得られるよう拡大を図り、地域に根付いた事業として定着させることで、元気な高齢者の多いまちづくりに貢献できる。指導員の人数などを勘案して24年度まで事業を拡大する予定であり、25年度以降は事業の継続・定着を目指す。	0.3				1				総務課	ク-1

